

高大連携―「高校生・大学院生による研究紹介と交流会」：平成19年7月31日

ごあいさつ

岡山大学自然科学研究科

科長 高田 潤

【これまでの連携】岡山大学自然科学研究科では、以前から物理、化学、生物などの分野で個別に先生方と連携を深めて来ました。最近では、対象を生徒の方にも広げ、様々な形で連携を進めています。例えば、博士前期課程の修士論文発表会への高校生の参加や研究室への訪問と研究協力などを行っています。

【昨年の交流会】昨年度からは、新しい試みとして「高校生・大学院生による研究紹介と交流会」（第1回）を教育連携協議会のご支援も得て開催しました。このような事業は全国的にも初めてのもので、計画段階ではうまく行くかどうか不安がありましたが、多数の高校生の皆様や先生方に参加していただき大盛会でした。具体的には、高校からの発表は4校から27件で、大学院生の21件を合計しますと、総計48件にのぼる研究紹介がありました。口頭発表は勿論のこと、ポスター発表でも生徒の方々の素晴らしい研究が紹介され、その真剣さと素直な視点に感心しました。特にポスター発表会場は熱気に溢れていましたし、高校生と大学院生の交流が活発に行われ、時間が経つのが非常に早く感じられたようでした。おかげさまで、参加された高校生の方々や先生方に大変好評を頂きました。

【今年の交流会の発表申込状況】本年度は、この事業をさらに拡大・発展させるよう各高校にご案内を差し上げましたところ、参加高校と発表件数がともに大巾に増加しました。つまり、昨年度の2倍の8校から合計46件の発表申込みを頂き、私共ビックリするとともに非常にありがたく存じております。参加者も200名を超えると予想しています。

【交流会の趣旨】この事業は、高校生と大学院生、高等学校および大学の教員が一同に集い、現在高等学校で生徒中心に熱心に進めておられる様々な研究と大学院生が行っている専門的な研究を互いに紹介するとともに交流を深めるものであり、全国的にも非常に珍しい企画です。恐らく、全国で唯一初めての企画です（我々の知る限り）。この交流の場で、高校生の方と大学院生、そして教員の方々が、それぞれの立場で新しい発見や刺激を受け、自らの力を高め将来の成長につなげていただくことが出来ればと願っております。さらに、この事業が地域社会や地域産業界へ少しでも貢献できれば幸いと考えております。

【来年度以降も継続開催】本事業は今回が第2回目ですが、20年度以降も継続して開催する予定であり、大学院と高等学校の連携する全国に先駆けた特徴ある事業として育ててゆきたいと願っております。

今後とも皆様方の後協力と後支援を心よりお願い申し上げます。